

年間授業計画

高等学校 令和8年度 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1～5 組： 大村)

使用教科書： (『改訂版 新編 現代の国語』 教研出版)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通じて、必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	感	配当 時数	
		話・聞	書 読						
1 学期	A 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。	・指導事項 山本貴光「学び始める春」 「学び始める」契機や姿勢を本文を通して考える。 田中真知「風が通るとき」説明するための工夫や、文章の構成を把握する。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。				6
	定期考査								
	C 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 松井智子「世間話はなぜするか」 コミュニケーションのあり方について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧 ・一人1台端末	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。				7
	期末考査								1
2 学期	D 単元 現代と社会 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の情勢について積極的に調べ、自分の考えを持つ。	・指導事項 日高敏雄「里山物語」 対比を読み取り、筆者の主張を考えを通して自身の考えと照らし合わせて視野を広げる。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧 ・一人1台端末の活用	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。				6
	定期考査								7
	E 単元 言葉が関わる世界 【知識及び技能】 言葉には認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。例示などの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のはたらきを理解し、日常生活で生かす。	・指導事項 湖上尚史「目指す世界の地図を作る」 自己を客観的に見つめる視点を理解し、表現の多様性について考えを深める。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。				7
	定期考査								1
3 学期	F 単元 人間と文化 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことを整理して、説明資料にまとめる方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 水のとらえ方の違いから視点を広げ、西洋と東洋の違いについて興味を持つ。	・指導事項 山崎正和「水の東西」 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧 ・一人1台端末 西洋と東洋の違いについて興味を調べ、まとめる。	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。				7
	G 単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の意義、役割を理解する。	・指導事項 佐藤信夫「コインは円形か」 本文で使われている「レトリック」という言葉の意味を考え、筆者が述べる言葉の本質について考察する。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。				5
	定期考査								1
	H 単元 社会と人間 【知識及び技能】 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を的確に理解し、身の周りに引き寄せて考える。	・指導事項 戸谷洋志「SNSに偶然はあるのか」 「情報と向き合う」ことをテーマにアルゴリズムについて考えを深める。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。				7
I 単元 現代と社会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 異文化を理解する姿勢を養い、今後の日常生活にも繋げて考える。	・指導事項 松村圭一郎「異文化を理解する」とは 異文化の概念を理解し、筆者が提示する「境界線」のあり方について考察する。 ・教材 新編現代の国語、新国語便覧	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。				6	
学年末考査								1	
								合計	70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者： （1組：古川） （2組：山田） （3組：古川） （4組：山田） （5組：山田）
 使用教科書： （ 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ ）
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】地理や歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける
- 【思考力、判断力、表現力等】地理的歴史的な課題の解決に向けて構想・考察・説明・議論する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にその課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養う

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について世界とそれの中の日本を広く相互的な視野からとらえ現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめられる技能を身に着けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代推移比較相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多角的・多面的に考察したり歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察・構想したことを効果的に説明したりそれらをもとに議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
近代化への関わり ①交通と貿易に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。 ②産業と人口に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。 ③権利意識と政治参加や国民の義務に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。 ④学校教育に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。 ⑤労働と家族のあり方に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。 ⑥移民に関する諸資料をもとに関わりを立てて、学習の見直しをもつ。	①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民 ・教材 教科書、副教材、プリントなど	【知識・技能】 ・資料を利用して、交通の発達や貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解できている。 ・資料を利用して、産業発達と人口増加の関連が近代化の重要な側面であることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・諸資料から、日本で19世紀におこなわれた、身分を問わずに義務を課せようとする動きや、同時に身分を問わずに権利を獲得しようとする動きの関係性について考察し、表現できている。 ・諸資料から、学校教育の均質化・一般化が近代化に与えた影響について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学校教育の均質化・一般化について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。 ・産業革命ともなう労働や家族の変化について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				5
1 18世紀の世界とアジア ①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。	18世紀の世界とアジア 琉球と蝦夷地 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解できている。 ・大西洋三角貿易の構造を理解できている。 ・「鎖国」体制の形成過程を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・18世紀のヨーロッパ人の中国観について資料をもとに考察し、表現できている。 ・貿易革命と産業発達の関係や全国市場の形成について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀のアジアと日本の概況やヨーロッパとの関係について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				10
定期考査						1
産業革命、アヘン戦争と日本 ①産業革命がイギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。 ②産業革命による工業生産の機械化・大規模化と世界の結びつきの変化について考察する。 ③アヘン戦争に清が敗れたことが、江戸幕府の対外政策に与えた影響について考察する。	1産業革命アヘン戦争と日本 ・教材 教科書、副教材、プリント 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・イギリスの三角貿易について理解できている。 ・アヘン戦争後、欧米諸国による東アジア進出が進んだことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、外国船出沒の理由について考察し、表現できている。 ・江戸幕府が対外政策を変化させた理由について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命の過程と社会問題の発生について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				8
日本開国期の国際情勢、開国後の日本 ①日本が開国した頃、世界各地で数多くの戦争や反乱がおこっていた理由を考察し、理解する。 ②開港前後における日本の政治状況について理解する。 ③対外貿易の影響が倒幕運動にどのような結びつきのかを考察し、理解する。	日本開国期の国際情勢、開国後の日本 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 「西洋の衝撃」に対するアジア諸地域の反応について理解できている。 ・列強が非欧米世界へ進出する一方で、たがいに対立することもあったことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、開港が社会に与えた影響について考察し、表現できている。 ・対外貿易と倒幕運動の関係について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・開港と倒幕運動の関係について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				7
定期考査						1
明治維新 富国強兵と文明開化 ①江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ②明治新政府がどのような中心として天皇中心の新しい国家を建設したかを考察し、理解する。 ③明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ④欧米の産業技術の導入が日本の文化や生活に与えた影響について考察し、理解する。	明治維新 富国強兵と文明開化 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・大政奉還から王政復古の大本令を経て戊辰戦争がおこった過程を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、明治政府の政策の新しい面とかわらなかつた面について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・富国強兵や文明開化が日本に与えた影響について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				12
大日本帝国憲法、日本の産業革命と日清戦争 ①自由民権運動が始まった背景やその展開について考察し、理解する。 ②大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。 ③大日本帝国憲法の特徴について考察し、理解する。 ④日清戦争に勝利した日本に対する列強の反応について考察し、理解する。	大日本帝国憲法、日本の産業革命と日清戦争 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・大日本帝国憲法の制定過程や憲法の内容を理解できている。 ・日清戦争の原因と結果を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、産業革命による生産様式の変化や貿易への影響について考察し、表現できている。 ・列強間における国際関係の再編がおよぼした影響について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本における産業革命の進展や日清戦争の経過について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				14
帝国主義、日露戦争と韓国併合 ①日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。 ②日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。	帝国主義、日露戦争と韓国併合 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・帝国主義時代のおもな分割対象がアフリカと太平洋海域であったことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、大日本帝国憲法の特徴について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日露戦争とその影響について、見直しをもって学習に取り組もうとしている。				6
いまの私たちにつながる課題 自由・制限の観点から、これまでの学習を振り返り、貿易に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	いまの私たちにつながる課題 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 対立・協働の観点から、ベリー来航後の国内対立、超然内閣をめぐる対立、対ロシア政策をめぐる対立に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・対立・協働の観点から、ベリー来航、帝国議会の運営、対ロシア政策でそれぞれの勢力が描いた政治構想を比較して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。				6
						合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科：数学 科目：数学Ⅰ 単位数：3 単位
 対象学年級：第1学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：西塚、加藤）（2組：上田、畑野）（3組：上田、加藤）（4組：上田、西塚）（5組：西塚、加藤）
 使用教科書：（最新数学Ⅰ 数研出版）

教科 数学 の目標
 【知識及び技能】基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】問題解決の道筋を考えたり説明ができるようになる。
 【学びに向かう力、人間性等】演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

科目 数学Ⅰ の目標
 【知識及び技能】数と式、データの分析、2次関数、図形と計量
 【思考力、判断力、表現力等】数学的事項の構成要素間の関係に注目し、その性質を見いだし、論理的に考察する力を身につける。
 【学びに向かう力、人間性等】数学を活用しようとする態度、数学的論議に基づいて判断しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析、2次関数、図形と計量について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数学的事項の構成要素間の関係に注目し、その性質を見いだし、論理的に考察する力を身につける。	数学を活用しようとする態度、数学的論議に基づいて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1学期	【知識及び技能】 ①単項式や多項式を理解し、同類項をまとめたり加法・減法を正しく行うことができる。 ②基本的な展開と因数分解を正しく行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①複雑な式についても、項を組み分け、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、学習しようとする。 ②展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検証に展開を利用しようとする。	・指導事項 第1章 数と式 第1節 整式 ・整式の加法、減法 ・因数分解 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 シート、ノート 【思考・判断・表現】 シート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	12
	【知識及び技能】 ①様々な分数や、実数の種類を区別できる。 ②基本的な平方根の計算を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①分数が有理数や無理数で表される仕組みを考察できる。 ②自然数、整数、有理数、実数の各範囲で、四則計算について閉じているかが考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 ②無理数を分数で表す方法に興味・関心をもち、	・指導事項 第1章 数と式 第2節 実数 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・絶対値 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ①大小関係を不等号を用いて表現することができる。 ②1次不等式を解き、その解を数直線上に図示することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①具体的な数に対して、不等式の解であるかどうかを判断できる。 ②不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①不等号が何を表しているのと付いていないものの違いを考察しようとする。 ②連立不等式の解を考察しようとする。	・指導事項 第1章 数と式 第3節 不等式 ・不等式と数直線 ・1次不等式 ・連立不等式 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	17
定期考査			○	○	○	1	
2学期	【知識及び技能】 ① x の関数 y が与えられたとき、 x の値に対する y の値を求めることができる。 ② $y=f(x)$ や $y=g(x)$ の表記を理解しており、関数の値 $f(a)$ を求めることができる。 ③2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの頂点、軸について理解している。 ④ $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかいたときには、 $y=h(x-p)^2+q$ の形で表す必要があることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。 ②日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。	・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・関数とグラフ ・平方完成 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	20
	【知識及び技能】 ①2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ②与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 ③2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。 ②2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①身近な問題を、2次関数の最大・最小の考えを活用して解決しようとする。 ②2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を導き、それを積極的に利用しようとする。	・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・最大と最小 第2節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式 ・2次不等式 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3学期	【知識及び技能】 ①三角形は、底角三角形の辺の比であることと理解している。 ②底角三角形において $\sin A$ 、 $\cos A$ 、 $\tan A$ の値を求めることができる。 ③三角形の表を用いて、三角比の値や角を調べることができる。 ④三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。 ②三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①三角比の相互関係を調べようとする。 ②三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。	・指導事項 第4章 図形と計量 第1節 三角比 ・鋭角の三角比 ・相互関係 ・鈍角の三角比 ・正弦・余弦定理 ・三角形の面積 ・教材 最新数学Ⅰ パラレルノート数学Ⅰ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
						合計	
						105	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科 数学 科目 数学A 単位数 2 単位
 対象学年組 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当 第 1 組：上田・松本 2 組：上田・工藤 3 組：上田・好佳 4 組：松本・西塚 5 組：松本・工藤
 使用教科書 (最新数学A 数研出版)

教科 数学 の目標：
 【知識及び技能】 基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の道筋を考えたり説明ができるようになる。
 【学びに向かう力、人間性等】 演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

科目 数学A	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。	数学を活用しようとする態度、数学的論議に基づいて判断しようとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①共通部分、和集合、補集合を求めることができる。</p> <p>②要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。</p> <p>③順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。</p> <p>②具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①集合を考えることで、日常的な事柄などを集合の要素の個数として数学的に数えようとする。</p> <p>②1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・集合 ・要素の個数 ・樹形図 ・順列</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。</p> <p>②組み合わせの問題を処理できる。</p> <p>③同じものを含む順列の総数を求めることができる。</p> <p>④確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①特別な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。</p> <p>②試行の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。</p> <p>②和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・組み合わせ ・組み合わせの利用 第2節 確率 ・確率の意味 ・和事象と余事象 ・独立試行</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①重心・外心・内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。</p> <p>②チェバ・メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。</p> <p>③円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①図形の性質を証明するに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。</p> <p>②三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①重心・外心・内心の作図に関心をもつ。</p> <p>②チェバ・メネラウスの定理の証明方法に関心をもつ。</p> <p>③三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 ・重心・外心・内心 ・チェバ・メネラウスの定理 第2節 円の性質 ・円周角と中心角 ・内接する四角形</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>②方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。</p> <p>③2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①円と直線の位置関係に3つの場合があることを理解している。</p> <p>②接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。</p> <p>③2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに関心をもつ。</p> <p>②2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 第2章 図形の性質 第2節 円の性質 ・円と接線 ・接弦定理 ・方べきの定理 第3章 数学と人間の活動 ・約数・倍数 ・素数と素因数分解</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②素因数分解を利用して最大公約数を求める方法を理解している。また、互いに素の意味を理解し、2つの整数が互いに素であるかどうか判断できる。</p> <p>③1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。</p> <p>④1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。</p> <p>②互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。</p>	<p>・指導事項 第3章 数学と人間の活動 ・不定方程式 ・最大公約数、最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	17
	定期考査						1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：古館）（2組：古館）（3組：古館）（4組：古館）（5組：古館）
 使用教科書：（東京書籍 新編 化学基礎）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。
 【思考力、判断力、表現力等】定期考査において各単元の思考力、判断力から判断する。
 【学びに向かう力、人間性等】実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	物質の成分 【知識及び技能】 物質の成分を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の成分を分ける方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において正しく分離することができる。	・物質の成分 ・純物質と混合物 ・蒸留	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	混合物の分離と精製 【知識及び技能】 混合物の理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 混合物の分離方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において正しく分離することができる。	・ろ過 ・再結晶 ・昇華法	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学 期	物質の三態 【知識及び技能】 物質の三態を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 状態変化の意味を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において物質の三態の違いを体感できる。	・物質の三態 ・熱運動 ・状態変化	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	周期表 【知識及び技能】 周期表の意味を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と周期表の関係を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験で性質の周期性を正しく理解できる。	・電子配置 ・周期表 ・元素の周期性	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	原子の構造 【知識及び技能】 原子を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の構造を想像できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験で原子の構造と静電気の関係を正しく理解できる。	・原子 ・電荷 ・静電気	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組～5組 馬場 神谷 小嶺 池田 安倍 鈴木聡）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】体力を高める運動の意義と、高め方及び競技のルール等を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】技能の段階に応じて、課題解決のための目標を設定し、練習を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間と協力し、様々な種目に積極的に取り組む。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 運動の主目的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 フェアなプレイを大切にしようとしている。 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学 期	①運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続すること ができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ②生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う	・ラジオ体操 ・体ほぐしの運動 ・体力テスト ・バドミントン ・水泳 ・ニュースポーツ	【知識・技能】 ・運動の主目的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 ・生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	39		
		・水泳 ・ニュースポーツ ・サッカー ・ソフトボール ・バレーボール				○	○	○	45
		・長距離走 ・ダンス ・卓球 ・トレーニング				○	○	○	21
							合計	105	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：池田）（2組：神谷）（3組：神谷）（4組：馬場）（5組：馬場）
 使用教科書：現代高等学校保健体育 大野新書舎

保健体育の目標
 【知識及び技能】 各個人の体質に応じた健康及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、活動や運動に資するようとする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自然や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に没頭し、心身の健康の維持増進と体力の向上を目指す。明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目	保健	目標
個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、技能を身につける。	健康についての自然や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自分の健康の保持増進やそれを支える面的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

単元	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知 恵 意			配当 単数
				知	恵	意	
1学期	Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
2学期	Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	3
	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
3学期	Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ Ⅰ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ Ⅳ 【知識及び技能】 単元について理解を深め生活に活用できる知識を養う。【思考力、判断力、表現力等】 単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学んだことを先にも自分の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プリント・定評考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
まとめ課題			○	○		1	
合計							35

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：浦部・松原）（2組：守田・松原）（3組：松原・浦部）（4組：守田・浦部）（5組：東條・守田）

使用教科書：（『All Aboard! English Communication I Revised』（東京書籍））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自発的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
一定の支援を受けながら、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための知識・技能を身につける。	一定の支援を受けながら、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための思考・判断・表現力を身につける。	積極的に英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価標準	知	思	想	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ 一 人 ）	話 （ 一 人 ）	書						
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】 過去形の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食についての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson1 [Breakfast Around the World] Get Ahead UNIT1		○	○	○	○		○	○	○	8
	Lesson2 【知識及び技能】 進行形の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 クオッカについての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson2[Australia's Cute Quokkas] Get Ahead UNIT1		○	○	○	○		○	○	○	7
	Lesson3 【知識及び技能】 助動詞の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近未来についての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson3[Life with Spade] Get Ahead UNIT2		○	○	○	○		○	○	○	8
	Lesson4 【知識及び技能】 to不定詞の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニコ壺湖についての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson4 [A Miracle Mirror] Get Ahead UNIT2		○	○	○	○		○	○	○	7
定期考査								○	○	○	1	
2 学 期	Lesson5 【知識及び技能】 動名詞の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 博多工業高校自動車工学科についての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson5 [A Dream Engine] Get Ahead UNIT3		○	○	○	○		○	○	○	11
	Lesson6 【知識及び技能】 受け身の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の浮世絵についての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson6[A Funny Picture from the Edo Period] Get Ahead UNIT3		○	○	○	○		○	○	○	11
	Lesson7 【知識及び技能】 比較表現の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アンネフランクについての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson7[A Diary of Hope] Get Ahead UNIT4		○	○	○	○		○	○	○	12
	Lesson8 【知識及び技能】 現在完了の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ロボットカフェについての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson8 [A Door to a New Life] Get Ahead UNIT4		○	○	○	○		○	○	○	12
定期考査								○	○	○	1	
3 学 期	Lesson9 【知識及び技能】 名詞を後ろから修飾する分詞の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ゴーストタウンについての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson9[Ghosts in the Oceans] Get Ahead UNIT5		○	○	○	○		○	○	○	9
	Lesson10 【知識及び技能】 関係代名詞の意味と用法を理解し、活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相和と共和の大きさについての英文を読み、自分や相手の意見を英語でやり取りする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、英語を聞いたり、読んだり、発表したり、書いたりしようとする。	Lesson10 [Pigs from across the Sea] Get Ahead UNIT6 英文の仕組み 1～3 文法のみ 1～3		○	○	○	○		○	○	○	15
定期考査								○	○	○	1	
											合計	105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 単位
 対象学年組： 第1学年 組～ 組
 教科担当： (1組：近藤・加藤) (2組：近藤・加藤) (3組：近藤・加藤) (4組：近藤・加藤) (5組：近藤・加藤) (6組：近藤・加藤)
 使用教科書： (最新情報Ⅰ 実教出版 新訂版)

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】情報機器などを活用した効果的なコミュニケーションの実現、情報社会との関わり方について理解できる。
 【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報を主体的に収集、判断、発信して適切に応用することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】情報技術を適切に活用することから情報社会に主体的に参画することができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わり方について考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	A 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報社会の特性や情報モラル、情報に関する法や権利、問題解決の手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の課題を捉え、情報の特性を踏まえて問題解決の方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切に活用し、課題解決に主体的に取り組む。	・情報社会の現状、情報の特性、情報モラル、情報化が個人に及ぼす影響を理解する。 ・知的財産権、著作物の利用、個人情報とプライバシーの保護について理解する。 ・社会で活用されている情報技術について理解する。 ・問題解決の手順（問題の発見、明確化、解決案の検討、実行、評価）を理解する。	【知識・技能】 ・情報モラルや法、問題解決の手順を理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報社会の課題を捉え、適切な解決方法を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報社会の課題解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性を理解し、効果的に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報伝達に適したメディアを選び、効果的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にメディアを活用し、効果的な情報発信を行う。	・メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 ・メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 ・コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴、社会の中で利用されている情報デザイン、情報を正確に、わかりやすく伝える方法、報告書やレポート、論文を作成するための手順、プレゼンテーションの手順とスライド作成、Webページ作成の方法について理解する。	【知識・技能】 ・メディアを適切に分類し、表現方法を工夫できる。 【思考・判断・表現】 ・情報メディアの選択とデザインに配慮して伝達できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らのメディア活用を改善し、効果的な伝達を行える。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 情報のデジタル化とコンピュータ 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みやデータ処理の原理を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報の表現方法や圧縮技術を理解し、適切に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル情報を主体的に理解し、活用できるようにする。	・コンピュータの演算の仕組み、数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・コンピュータの構成と動作の仕組み、ソフトウェアの種類とインタフェース、アナログとデジタルの違い、2進数と情報量の関係、コンピュータでの数値の計算方法、音声や動画をデジタルで表現する方法、静止画や動画をデジタルで表現する方法、情報のデータ量を小さくする方法について理解する。	【知識・技能】 ・計算の仕組みやデータ圧縮について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・情報機器や圧縮方法を適切に選択し、データを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル化された情報を適切に取り扱い、理解する。	○	○	○	10
	D アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの基本を理解し応用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的なアルゴリズムを設計・表現し、効率的なプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムを主体的に考え、プログラム作成に取り組む。	・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 ・変数を使用したプログラムを作成する。	【知識・技能】 ・アルゴリズム設計とプログラム作成を実践できる。 【思考・判断・表現】 ・アルゴリズムの設計とプログラム作成を実践できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラム作成において試行錯誤を通じて改善できる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	E 情報通信ネットワークとセキュリティ 【知識及び技能】 通信方式やセキュリティの重要性を理解し実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 LAN構成やセキュリティ対策を適切に判断し、実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットワーク構成やセキュリティの改善策を提案し実行する。	・情報通信ネットワークの構成、ネットワークを効率的に利用するための取り決め、Webページとメールの仕組み、ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫、脅威に対するさまざまな安全対策、情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	【知識・技能】 ・通信技術の違いとセキュリティ対策を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ネットワーク構築とセキュリティ対策を適切に行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・セキュリティ対策を積極的に実施し、リスク軽減に貢献する。	○	○	○	5
	F データの活用とシミュレーション 【知識及び技能】 データの収集・整理・分析の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータを整理・分析し、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 データ活用を主体的に取り組む。	・データの収集や整理の方法について理解する。 ・表計算ソフトを用いたデータ処理の方法について理解する。 ・データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 ・データを基に物事を考察する方法について理解する。	【知識・技能】 ・データの収集・整理やグラフ作成など、基本的なデータ活用の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じてデータを整理・分析し、結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データを活用した学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
合計							
							70

